

ワキの発生に注意！
作業中の熱中症にもご注意を！



1 ワキの防止について

田植え後 20 日頃から好天時には地温が 20～30℃に達し、生わら施用田では土壌の還元化が強まりワキ（ワラ等の分解により発生するガス）の発生が多くなります。多発すると生育停滞を起こします。夜間落水を実施してガス抜きを行い土壌への酸素供給を図り根の健全化に努めましょう。

ワキの程度	ワキの発生程度	水稻生育への影響	対策	
			5月下旬	6月初旬
中	水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い。	根の活力低下	用水の更新	用水の更新
多	水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する。	根張り不良	用水の更新	用水の更新を繰り返す
甚	晴天時自然に気泡が発生し、音が聞こえてくる。また水田を歩くと著しく気泡が発生する。	根の伸長阻害 地上部の黄化	用水の更新を繰り返す	夜干し等田を干す

- ・発生程度に応じて水の更新や夜干し等でガス抜きを行い根の活力維持に努めましょう。
- ・ワキの発生が多い場合は曇雨天の日に、日中も干しガス抜きに努めましょう。
- ・「夜干し」のやり方は夕方に落水して翌日に入水します。風がなく夜間気温があまり下がらない日に行いましょう。

2 アオミドロ・表層剥離について

気温の高い日が続くと藻類の発生が目立ってきます。アオミドロ等の藻類は大量に発生するとイネに絡みつき生育を遅らせます。また、除草剤の拡散を妨げ除草効果の低下や薬害の原因にもなります。

資材名	成分数	使用時期	備考
モゲトン粒剤	①	※収穫45日前まで	10a あたり 2～3 kg 発生が多いところへのスポット処理も可能
モゲトンジャンボ	①	※収穫45日前まで	発泡性の錠剤 畦から投げ込み処理

- ・風により藻、アオミドロが隅に寄った時のスポット散布が効果的です。
- ・イネに絡みつく前の発生程度が少ない時期に防除しましょう。

他に藻や表層剥離に有効な資材

資材名	効果	使用方法
田んぼの鉄人	水質の浄化	◆移植直後の富栄養化で藻類などが発生した場合 1アールあたり2～3kgを手または動力散布機でスポット処理します。
		◆メタンガス、硫化水素ガス等の有害ガスが発生した場合 発生箇所へ1アールあたり2～4kgを手または動力散布機でスポット処理します。

※鉄+菌体資材につき農薬ではありません。JA特裁にも使用可能です。

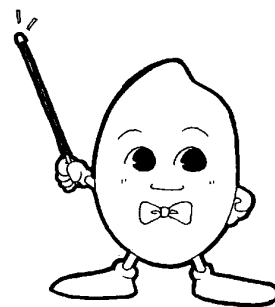
3 イネドロオウムシ・イネミスゾウムシについて

イネドロオウムシ（幼虫）⇒葉の表面が斑点状に白くなる。

イネミスゾウムシ（成虫）⇒葉の表面が1 cm～1.5 cm程度の長さでスジ状に白くなる。

食害がひどい時は薬剤防除を行いましょう。

資材名	成分数	使用時期
シクロパック粒剤	①	成虫密度の最盛期(6月2半旬頃まで) ※収穫60日前まで
トレボン粒剤	①	成虫密度の最盛期(6月2半旬頃まで) ※収穫21日前まで



4 取りこぼし雑草対策について

難防除雑草・取りこぼし雑草の防除はお早めに！

目立たなくても葉齢は進んでいます！圃場、雑草の状態を確認して散布適期を逃さないようにしましょう。

資材名	成分数	使用時期	備考
クリンチャー1キロ粒剤	①	移植後7日～ノビエ4葉期(1キロ散布) ※収穫30日前まで 移植後25日～ノビエ5葉期(1.5キロ散布) ※収穫30日前まで	広葉雑草には効果がない。
ハイカット1キロ粒剤	④	オモダカ: 矢尻葉3葉期まで クログワイ: 草丈30cmまで ホタルイ: 4葉期まで 移植後15日～ノビエ3.5葉期 ※収穫60日前まで	水稻5葉期以降で使用。水持ちの悪い圃場、砂質土壌では使用を控える。
バサグラン粒剤	①	オモダカ、ホタルイ: 発生盛期まで クログワイ: 草丈15cm以下 移植後15日～55日 ※収穫60日前まで	落水状態またはごく浅く湛水した状態で散布する。ノビエには効果がない。
ワイドアタックSC	①	移植後20日～ノビエ5葉期 ※水稻6葉期以降 ※収穫30日前まで	落水状態またはごく浅く湛水した状態で散布する。

作業中の熱中症に注意！

この時期は特に熱中症に注意が必要です。予想最高気温はもちろん大事な要素ですが、「前の日との差」にも着目してください。気温が急に上がることが予想される日は熱中症にかかりやすくなりますので、こまめに休憩・水分補給するなどの対策を心掛けましょう。(冷水やお茶等よりスポーツ飲料がお勧めです。)

栽培記録簿提出のお願い

第1回目の水稻栽培記録簿の提出期限は5月末です。

確実な記帳と提出をお願いします。(提出は各ふれあい営業所にお問い合わせいたします。)